

燃焼装置; 燃焼方法

注

このクラスにおいては、下記の用語は以下に示す意味で用いる:

— “燃焼” は、可燃物質と分子酸素、例. 空気中の、との間の発熱を伴う連鎖的な化学反応を意味し、大半の場合に炎または白熱の形式で光を発生させる;

— “燃焼室” は、それ自体で維持される火または炎を確立するために燃料がその中で燃焼するものであって、その火または炎を取り囲んでいる室を意味する;

— “バーナ” は、それ自体で維持される炎を発生するために流動性燃料が、または空気中に浮遊する固体燃料が、燃焼する燃焼空間へ導かれる装置を意味する;

— “空気” は、遊離した酸素を含み、および燃焼を促進または維持させ得る気体の混合物を意味する。

固体燃料のみを用いる燃焼方法または装置 (室温では固体であるが溶解した状態で燃焼する燃料の燃焼のためのもの、例. ロウソクの蠟, C11C5/00, F23C, F23D; 空気中に浮遊した固体燃料を用いるもの F23C, F23D1/00; 液体中に浮遊した固体燃料を用いるもの F23C, F23D11/00; 固体燃料を液体燃料と一緒に、あるいは空気中に浮遊する固体燃料と一緒に、同時にまたは択一的に用いるもの F23C, F23D17/00)

注

(1) このサブクラスは、燃料自体が、流体搬送や浮遊状態ではなく機械的に輸送されて燃焼するか、本質的に静止したまま燃焼するか、のいずれかの燃焼のみを包含する。[8]

(2) このサブクラスでは、ファーストブレイス優先ルールが適用される。即ち、各階層レベルにおいて、相反する指示がない限り最初の適切な箇所に分類する。[8]

(3) このサブクラスでは、方法は、用いられている装置を包含しているグループに分類する。ある特殊なタイプの装置に関連していない方法は、グループ F23B90/00 に分類する。[8]

(4) このサブクラスでは、グループ F23B101/00-F23B103/00 のインデキシングコードを付加することが望ましい。[8]

サブクラス内の索引

燃焼装置.....	
2 以上の燃焼室の組み合わせ 10/00	
特に携帯または移動可能なもの 20/00	
機能別 30/00-60/00.....	
固体の燃焼残滓を再循環するもの 70/00	
燃焼ガスのまたはその燃焼により放出される不燃焼ガスの明確な流路を作成するもの 80/00.....	
装置の種類によらない燃焼方法 90/00	
このサブクラスの他のグループに分類されない主題事項 99/00	
10/00 2 以上の燃焼室の組合わせに特徴のある燃焼装置[8, 2011. 01]	
10/02 ・分離した二次燃焼室を含むもの[2011. 01]	

20/00	特に携帯または移動可能な燃焼装置[8]
30/00	燃えている燃料を攪拌するための駆動手段を有する燃焼装置; 燃えている燃料を燃焼室を介して進ませるための駆動手段を有する燃焼装置[8]
30/02	・燃料を支持している可動式の、例. 振動する、面を有するもの; 可動する部分を有する燃料を支持している面を有するもの[8]
30/04	・燃料を支持している面を有するものであって、水平または傾斜軸の周囲に回転しその面の内部でその燃料を支持するもの、例. 円筒状火格子[8]
30/06	・燃料を燃焼ゾーンを介して進ませることに特に適した燃料を支持する面を有するもの[8]
30/08	・燃料ゾーンを通過して移動する、燃料を支持する面を有するもの、例. 鎖状火格子を有するもの[8]
30/10	・可動式であるが基本的に同じ場所のままである、燃料を進ませる要素を持った燃料を支持する面を有するもの、例. ローラまたは往復火格子棒[8]
40/00	燃料を燃焼室へ供給するための駆動手段を有する燃焼装置[8]
40/02	・燃料を支持している面に散らすことにより燃料が供給されるもの[8]
40/04	・下の燃料を支持している面の開口部分から燃料が供給されるもの[8]
40/06	・燃料を支持している面に沿って燃料が供給されるもの[8]
40/08	・ポット型またはトラフ型の火格子に供給されるもの[8]
50/00	燃料が重力により燃焼ゾーンにまたはこれを介して供給される燃焼装置、例. 燃焼ゾーンの上に設置された燃料貯蔵手段から供給するもの[8]
50/02	・燃料が、下部に燃焼ゾーンを有する柱状物、山状物、または厚い層を形成するもの[8]
50/04	・燃料の動きに対して燃焼空気および燃焼排ガスの流れがほぼ交差しているもの[8]
50/06	・燃料の支持面の開口部分から燃焼排ガスを下方に排気するもの[8]
50/08	・燃料を偏向させる部材によって燃料層内に燃焼空間を形成しているもの[8]
50/10	・燃料が充填された導管の末端が燃料層の表面にあり、その表面に燃焼ゾーンを形成するもの[8]
50/12	・自由落下または傾斜面に沿って滑らせることにより、燃焼ゾーンに供給される燃料、例. 燃料層の上部で終わっているコンベアからの供給[8]

F 2 3 B

- 60/00 本質的に静止したまま燃料が燃える燃焼装置[8]
- 60/02 ・火格子を通じて供給される燃焼空気を有するもの[8]
- 70/00 固体燃焼残滓を再循環するための手段に特徴がある燃焼装置[8]
- 80/00 燃焼排ガス又は燃料から放出される未燃ガスを導くための流路に特徴があるもの[8]
- 80/02 ・燃焼室へまたは燃焼ゾーンへ燃焼排ガスを再循環するもの[8]
- 80/04 ・燃焼排ガスの流れを案内するための手段によるもの, 例. パッフル[8]
- 90/00 装置の種類によらない燃焼方法[8, 2011. 01]
- 90/02 ・始動技術[2011. 01]
- 90/04 ・二次燃焼を含むもの（分離した燃焼室内で行われるもの F23B10/02）[2011. 01]
- 90/06 ・・一次燃焼が還元雰囲気下でのガス化または乾留であるもの[2011. 01]
- 90/08 ・・触媒を用いるもの[2011. 01]
- 99/00 このサブクラスの他のグループに分類されない主題事項[8]

ボイラへの燃焼装置の応用に関連したインデキシング系列[8]

- 101:00 燃焼室がボイラ容器内に設置されている, 例. 冷却面に囲まれているもの, 燃焼装置のボイラへの適用[8]
- 103:00 ボイラの開口部内または開口部に向けて設置するための, 例. オイルバーナに換えて使用するための, 燃焼装置の適用[8]
- 103:02 ・本質的に水平な炎を作成するためのもの[8]